



行幸小だより

瀬戸内市立行幸小学校
令和6年7月1日
第463号

学校教育目標：「豊かな心を持ち、自ら学び、共に高め合うたくましい子どもを育てる」
目指す児童像：知「表現する子ども」徳「人を大切にする子ども」体「やりぬく子ども」

あなたを大切に あなたのまわりの人も大切に

ねえ、きみ・・・

坂本 光男

ねえ、きみ、お母さんをしてるかい。
きみが生まれたとき、病んだとき
眠らずじっとそばにいて
心を痛めていたのがお母さんだ。



ねえ、きみ、お父さんを知ってるかい。
夜中どんなに遅く帰っても
きみの寝顔をそっとみて
黙って床に就いたのがお父さんだ。

ねえ、きみ、友達を知ってるかい。
平気でいつも楽しそうだけれど
誰もが一つ以上の悩みをかかえ
こらえながら頑張っているのが友達だ。

ねえ、きみ、自分を知ってるかい。
たとえ勉強やスポーツが苦手でも
必ず二つ、三つ自慢できるものがある。
それに気づいていないのが自分なんだ。

ねえ、きみ、生きるって知ってるかい。
きみのなかにある、その自慢できるものを
どれでもいいから輝かせてごらん
それがきみにとっての生きることなんだ。

ねえ、きみ、生命って知ってるかい。
きみがもし死んだら、親も友達も泣く。
かけがえのないタカラモノだから
生きられるだけ生きてこそ生命なんだ。

ねえ、きみ、未来って知ってるかい。
どうなるかわからないこれからは
きみの知恵と力でできりひらく
そのわくわくする冒険が未来なんだよ。

坂本光男詩集 「熱くやさしく」より



自慢することなんてないという子どももいます。自分の価値に気付かず落ち込む子どももいます。未来への不安を抱えている子どももいます。でも、一人一人がかけがえのない大切な存在であることを私たち大人は言い続ける必要があると思います。6月には人権週間がありました。いじめや人権侵害をなくするための取組を各学級で考えて中央廊下に掲示しました。ふわふわ言葉・チククチク言葉という取組で、学級で使いたい言葉、学級からなくしたい言葉を話し合い、使わないと決めた言葉をカードに書いて封印した学級もありました。最近子どもの使う言葉が気になっていたのも、このような取組で言語環境の調整をするのはよいことだと思いました。「自分を大切にまわりの人も大切に」を合言葉に温かい学級集団を作っていきたいと思っています。

「熱中症」にご注意！

下校中の熱中症を心配しています。子どもたちは炎天下の中を歩いて帰ることもあります。身長が低い分、アスファルトからの輻射熱を大人より多く受けます。

途中で水分補給をしたり、ネッククーラーや冷感タオルを首に巻いたりするなど工夫をするように指導しています。家庭でも声をかけてみてください。



「夏休み」自分の命は自分で守る

もうすぐ子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。家庭で過ごす時間が増えるとともに、行動範囲も広がります。開放的な気分にもなるでしょう。生活サイクルの乱れやネットトラブル、そして、何より自分の命は自分で守れるよう事故やけがに十分注意をして過ごしてほしいと思います。
(文責：校長 大嶋)